

FX

必勝法

その 2



目次

目次	1
相場での考え方	2

【FX 必勝法その 2】相場での考え方

こんにちは、深見純です。

本日は、「**FX 必勝法その 2**」というテーマで、
お届けしたいと思います。

「**その 1**」をお読みくださった人も
いらっしゃると思いますので、
本日も最後まで、
是非お読みいただければ嬉しいなと、
思っています。

では、早速いきます。

まず、

「**その 1**」でお話した、

概念が一番大事という理解の基の前提です。

そして、

概念を変化させようと決めていく。

決めていただければ、

いいなと思っています。

少し、だんだん、

相場のほうに、

近づいてきました。

今度は、**概念**ではなくて、

「相場で重要な考え方について」

になります。

考え方についてです。

一つ、

これは抑えてほしいのです。

何事も起こりうるということです。

これは、

今大暴落とか、

いろんなことが、**何事も起こり得る、**

ある意味なくなってしまうかもしれないということも全て、

何事も起こり得るという。

この言葉以外に、

表現のしようがないのですけれど、

何事も起こりうるということを前提に、

物事をやるということです。

なので、

分散やリスクヘッジということが

とても重要になってきます。

二つ目。

優位性とは、

49.9 対 50.1 にしかすぎない

という考え方です。

いろんな相場を見ていると、

「**ラインがどうだ、ああだ、こうだ**」で

優位性というのが

見えてくる場合があります。

確かに**優位性**というのは、

存在するのですけれど、

だけれども偏っていく。

「**これは絶対上がる、これは絶対下がる、**

これはきつといけるだろう」というような

考え方ではなくて、

常に 50 対 50 です。

これ、

あえて **49.9** というふうにしていますが、

基本的には 50 対 50、

どちらもあるということ。

偏った目線にならないということが、

とても大事です。

そして三つ目です。

利益を出すためには、

次に何が起こるか、

知る必要はないということです。

つい**利益**を出すためには、

次に何が起こるか、

知る必要があると思ってしまうわけです。

けれども、

利益を出すために、

次に何が起こるか知る必要は、

実は全くないのです。

この部分ですね、

後でなんとなく、

分かってくるかなと思います。

大事なことは以上の3つです。

何事も起こり得る、

優位性とは 49.9 対 50.1、

そして利益を出すためには、

次に何が起こるかを知る必要ない。

これは、

メモに残しておいてほしいなと

思うぐらいの、

キーワードになります。

この**キーワード**をもとに、

物事を考えていくということになるわけです。

まず、

その内の 1 つ、

利益と損失についてです。

その考え方についてお話します。

これ、

とても大事です。

まずですね、

FX とか**投資**というのは、

損失を受け入れた人が**勝ち**です。

これ、

どういう意味でしょうか。

投資をしたり **FX** をしたりするときは、

皆さんほとんどの人が、

お金を増やしたいと思って

始めるのです。

だけど、この、

「損失を受け入れた人は勝ちです」という、

考え方を持ってください。

損失を受け入れる、

損失を嫌がらないということの

表現にもなります。

損したくないという、

人間心理を受け入れている

状態のことを言うのです。

実は、

お金を増やしたい、

勝ちたいという思いよりも、

実はもっと多くあるのが、

「損したくない、減らしたくない」

という**人間心理**です。

これを受け入れている状態なので、

「減らしてもいいや」

ということなのです。

「減らしても、別にいいしね」

というような状態を作るということです。

なので、

頭でこれから理解することは、

「損したくないという、人間心理があるのだ」

ということを、

知っておくということです。

この行動から何を見るかというと、

損したくないから、

聖杯探しを続けるのです。

「これは損しないで、もっと勝てるだろう」と

損失を受け入れられないからこそ、

聖杯探しを始めるのです。

損失は嫌、

利益は良い、好き。

損失は嫌だよね、

利益は良いよね。

この **2つの対立関係の概念**が、
感情的になってしまうのです。

人間もそうです。

「あの人は好き、あの人は嫌い」とか、
そういうことをやるわけです。

そういうふうに、
この **2つの対立概念**が、
多ければ多い人ほど、
感情的になります。

「あの人は好き、あの人は嫌い」

「あの利益は好き、損失は嫌い」

これが感情的です。

もっとひどくなってくると、

「**損失**は気持ち悪い、**利益**は気持ち良い」

快樂の世界に入っていきます。

快樂の世界に入ったら、
もうどうにもなりません。

まだ

好き嫌いは、抜けられます。

でも**快樂の世界**に入ると、
より抜けにくくなります、

快樂の世界。

例えば、人であれば

「もうあの人の顔なんか見たくない。

あの人の顔を見ると、鳥肌が立つ」

完全に**快樂の世界**です。

不快な世界です。

快か不快の世界だと思ってください。

この、二つに分かれた**概念**、

感情というのが、

非常にガンのようになるのです。

ここを、

受け入れるという状態を、

作り上げるということです。

利益と損失は、イコールである。

利益も損失も、

好きとか嫌いが別にならない。

「なるほど利益なのね、なるほど損失などね」と、

全て、

「なるほど」というだけなのです。

利益が好きで、**損失**が嫌いというのは、
実は**個人の感想**だけであって、
ただ**利益**がある、ただ**損失**があるという
状態なのです。

けど、
そこに好きとか嫌いとか、
快とか不快とかという状態を、
つけてしまっているわけです。

実は、
利益も損失も同じくらい価値があるのです。

損失も利益もイコールです。

この、2つの対立したものを、
統合するという感覚です。

イコール利益を欲しいのだけれども、

損失さえも受け入れている

という状態です。

「本当に**リスク**を受け入れた状態とは、

精神的不快感や恐れなしに、

自分の**トレード**の結果を受け入れること」

これ、

マーク・ダグラスのゾーンという本に

書いてあることです。

リスクを受け入れた状態とは、

どういうことか、

精神的不快感や恐れが、ないのです。

そして、

自分の**トレード**の結果を、

ただただ受け入れること。

これは、

利益になったから受け入れて、

損失だから受け入れがたいとか

じゃないのです。

自分の**トレード**の結果を、

受け入れることにある。

精神的不快感や、**恐れ**なしに

受け入れるということです。

これが

本当にリスクを受け入れた状態です。

例えば**損失**になると**ドキドキ**したり、

損失の方向に振れていくと**アチャー**となったり、

利益の方向にいくと**ワクワク**していったり。

これというのは、

精神的な不快感と快感というのが、

あるのです。

恐れというのもあり、

その恐れがなくなっている状態というのは、

リスク損失を、

受け入れた状態なのです。

「なるかもしれない」ってことを

受け入れている状態。

そして今度は、

入口戦略から抜けるということです。

入口戦略とは何なのかというと、

エントリー場所を探す行為になります。

「こうなったらここで買う、

こうなったらあそこで買おうかな」という

エントリー場所です。

エントリー場所を探す行為から

出口を探す行為に、**シフト**してください。

出口を探す行為に切り替えるのです。

先に出口、

もっと言うと、「**出金**」から考えるんです。

出金することから考えるぐらい。

出金するってことは、

こういう事を選ぶということは、

こういうことする、ああいうことする、

これは**マクロの世界**。

もうちょっと**大きな行動**です。

だけど**相場**というか、**チャート**を見たときに

「どこで入ろうかな」じゃなくて、

「どこで出ようかな」ということから、

入るということです。

実は**出口戦略**というのは、

損失を受け入れていないと、

できないのです。

なぜなら**出口戦略**というのは、

一時的に含み**損**を持ったりしますし、

エントリーポイントを探す行為というのは、

含み損を持ちたくない、できれば含み損の方向に
振れたくないというふうなところから、
エントリーポイントを探す行為に入っていきます。

要するに、

出口戦略というのは、

損失を受け入れていないと、できないのです。

では、

なぜ入口戦略になるのでしょうか。

勝ちたいから、マイナスになるのが嫌だから。

もうこれしかないです。

当然、

FXをやられている方は全員、

「FXで増やしたいな、勝ちたいな」

と思うでしょう。

けど、

マイナスになるのが嫌だからと

思っていると、

どうしても**損失**を受け入れることができないのです。

出口戦略は、

損失を受けることができない、

受け入れていないと、できないのです。

増やし続ける投資家と、

減らし続ける投資家の違いです。

まずは、

減らしてしまう投資家の思考の

部分をお話しします。

まず 1 番、

減らしたくないと思っている。

いわば、

損失を受け入れない状態です。

とにかく**勝ちたい**と思っている。

これに近いかなと思います。

イコール損失を受け入れていない。

そして、

良い**エントリー戦略**があると思っている。

こういうふうに、物事を探すのです。

そして、

良い手法、悪い手法という

見方をしている。

「これはいいよね、これは良い手法だよね、
これは悪い手法だよね」

というような見方をしていくんです。

なぜか。

減らすほうが悪い手法で、

増えるほうが良い手法だと思っているのです。

そして、

FX 会社の手数料など、

小銭ばかり気にします。

手数料が高いより、

安いほうがいい。

小銭を気にしています。

もっと大事なことがあるのに、

こういうことばかり気にしているのです。

「損失したくない、少しでも安くしたい、

1円でも多く勝ちたい」というふうに思っています。

なので、

FXの仕組みから見ないで、

自分の**損得**の部分から、

ものを見てしまう。

こういう**癖**があります。

これは、**考え方**の部分です。

では、

増やし続ける投資家の思考って

どんな感じなのか。

「どっちでもいい」と思っています。

「上がろうが下がろうが、

どっちでもいい」と思っています。

イコール損失を受け入れています。

出口戦略です。

どっちでもいいと思っているということは、

上がったらかうする、下がったらかうする

ということを決めているだけなので、

だから、どっちでもいいんです。

出口戦略から考える。

エントリーポイントじゃなく、

出口戦略から考えます。

そして良い手法、

悪い手法ということ

言ってるんじゃないのです。

理にかなっているか、

理にかなっていないのかという見方をしている。

「これは理にかなっている、

今は減らしたかもしれないけど理にかなってる」

というふうな、言葉が出てきます。

「理にかなっているね、これ」と。

でも、

そうしないと、

「増えたらいい手法だね、減ったら悪い手法だね」

って言い方をするのが、

減らし続ける人から出てくる言葉です。

増やし続けている人というのは、

やっぱり、私の周りにも何人か

いらっしゃいますけど、

「**理**にかなっているよね」

「これは**理**にかなわないかもね」

増やしていても

「これはまぐれかもね」って言ったりするのです。

減らしていても

「ああ、これは**理**にかなってる」

というふうに言うのです。

そして

仕組みを知って、

最適な環境で**取引**をするというところに、

頭を使っています。

だから、

手数料が安いからとか、

そういう**小銭**の部分を見ていないのです。

もっと**マクロ**のところを見ています。

仕組みを知るというところ。

損失を受け入れた**戦略**、

理に適った仕組みかどうかを見る。

仕組みを理解して、最適な戦略を取る。

これはさっきの、

減らし続ける投資家との大きな、

相反する部分になります。

手数料ばかり気にしている、

小銭を気にしている人。

いいとか悪いとか言ってる人、

そしてどこに入ったらいいかばかり
気にする人とは全く、**相反**するところにな
ってしまうわけです。

今、

この**投資家の思考**という部分を、
ご存知になったわけなので、
これも、まずは言い聞かせるというか、
「**どっちでもいいよね**」と言ったり、
口で言ったりとか。

あとは

「**理**に適っているよね、なるほどね」

この**理**に適っている、適っていないところを、

少しご説明します

まず、

ユーロ／ドルの1時間足を、

イメージしてみてください。

チャートを切り取ったわけです。

これが、どちらに向かうでしょうかという話なのです。

どちらに向かうか。

チャートが右側に進むにつれて、

ボンと上に上がるのか、

それともどうなのかということを、

予想します。

その**予想材料**というのを、

いろんなところから引っ張ってくるわけです。

実は、結論はこうなのです。

上に行く、

下に行く、

そのまま横に行く。

これ、どうなるか分からないのです。

それは、**誰も分からない**のです。

これ

誰も分からないって割り切った方が、

けっこう楽だったりします。

これを分かろうとするってやると、

けっこういろんなことに時間を使うのです。

いろんなニュースを見たり、

インターネットから引っ張ってみたりするのですが、

「でもじゃあ、それが本当にそうなるの」って言ったら、

全然ならないことばかり。

だから、

この予想するということは、

非常に**生産性が悪い**のです。

生産性という言葉を使うとすれば、

生産性が悪い。

分からないと決めてしまったほうが、

時間にゆとりができます。

調べる時間が要らなくなるので。

「あもうわかんねーから、

上行ったらこうしよう、

下行ったらこうしよう、

横行したらこうしよう」ということを、

決めることはできます。

ここは、

自分の**裁量判断**になるので、

余計なことを、

外側から引っ張ってくる時間は必要ないです。

これですね。

決められるのは、

下に行ったらどうする、

上に行ったらどうする

これだけなのです。

上に行くかどうか、

下に行くかどうかというのは、

基本的に誰も分からないというふうに

割り切ったときに、

決められるのは、

上に行ったらどうする、

下に行ったらどうするか、

これだけになります。

極論は、

予想というのはまったく意味がない。

「誰かが何かを発表したら、

上抜きするだろう。だから…」とか、

そういう予想というのは、

実は意味がないし、

そこに頭を使ってしまっていることが、

もったいないなあというふうに思うのです。

「**損失**が出てもいいや」と。

決めたことに**損失**が出て、

いいんです。

決めたことをやる。

これしかできないのです。

「**損失**が出てもいいや、決めたことをやる」

これしかできない。

だって、それしか出来ないのです。

「**利益**が出たからいいね、

損失が出たから悪いね」ではなくて、

決めたことを行なったのか、

ここに**フォーカス**する。

これが大事です。

決めたことを行なった結果、

損失が出た。

これは**別に悪くない**のです。

いいのです。

その決めたことを、

変えればいい。

でも

決めたことをやらなかったけど、

利益が出た。

これは、一番、

実はまずくて、

私も何回もあるのです。

「あ、ちょっとこれ、

こうやって決めたんだけど、

変更して」

変更するのです。

いい意味で

臨機応変での変更じゃなくて、

感情的変更です。

それでたまたま利益が出た、

「ああよかった」。

これが実は、一番まずいのです。

決めたことをやった、

だけど損失が出た、仕方ない、

じゃあ変えようってことで変える。

それは今後できます。

でも感情的に変更して、

たまたまいい結果が出たら、

また同じ事をします。

こういう、このループにはまると、

継続しにくくなります。

なので、

決めたことをやったのか、

ここに**フォーカス**しましょう。

そして、

増やし続けられる投資家への**第 1 歩**。

成り行き注文をやめて、

全て予約注文にしていきます。

例えば、

先ほどの**ユーロ／ドル**の**チャート**を

思い出してほしいのですが、

あのところから、

今**「売り」**、今**「買い」**というのを、

パンと**成行注文**で入れるのではなくて、

予約、セルでもバイでもいいと思うのですよ、

予約注文。

予約注文。

こうやって必ず、

成り行きをやめて、

1回、予約注文に徹するのです。

そこに、その予約注文すべてに、

ターゲットを取る。

少なくとも入れてもいいと思います。

すべて予約注文に徹する。

成行注文をやめていくということを、

少しずつシフトしていくことが大事です。

やってみてください。

これ、ずっとFXを成り行きで

バンバンバンとやっていた人にとって、

けっこうストレスなのです。

だけど、目的を、

きちんと増やし続けるというところに、

シフトしていくということを、

決めていれば、

これはやれると考えて、

ぜひ、**全て予約注文でいく**ということを、

やってみてください。

そして、

ニュース、インターネットなどで

見る経済情報などを、

一切参考にしない。

これを **FX** の**買いか売り**の、

投資材料にしないということです。

これ、けっこう重要なのです。

ここで書くと長くなってしまうので、

セミナーとかに来られた方には、言うのですけど、

これけっこう重要です。

要するに、**投資材料**、

つまり売りでいくか、買いでいくか。

それともそこにどんな予約注文を入れるか。

その**材料**は、全て**チャート**です。

チャート上で決めるのです。

なので

「**チャート**上ではこうだけど、インターネットで

こういうのを見ると、誰々がなんとかの**発表**しそうだな」

とか、

「誰々が選挙で**当選**しそうだな」

そういうのを**材料にしない**ということです。

投資材料は、

全て**チャート**で決めていくということです。

四つ目。

参考にするツールは2つ。

例えば、

移動平均線、フィボナッチ、

横、斜めとあると思うのですが、

大まかに参考にするツールは、

2つぐらいに収めるということです。

「あれがいい、これがいい」と言って、

いろんなものを入れるのは、

駄目です。

いろんなのを入れていく。

そして途中から、

今度、「これは駄目」とか言って、

いろんな材料に変えていくのです。

ある時は斜めが良かったのに、

今度はやっぱり横だ。

これがあれだから、やっぱり斜め。

それで、そこにフィボナッチも加えながら、

ガッチャガッチャと。

そういう人と会うと、

何個も何個もやっているうちに、

今回会った時は斜めだったけど、

次に会った時はまた変な斜めとか、

次は、一目均衡表が足されていたり。

いろんなふうにならっていく。

2つぐらいに決めて、

材料を少なくして、

それに則ってやるということです。

決められるのは、

予想というのは、できないと考えたときに、

決められることしかないので、

自分で、上へ行ったらこう、下へ行ったらこうと、

決めることしかできないと考えたら、

材料は多くないほうがいいです。

2つぐらいに、絞るということです。

何が良い悪いというのは、それは後の話。

そして五番目。

国内 FX 会社ではなく、

海外 FX 会社を使おうと思います。

これは、

このメルマガでは、詳しく記載することが

できないのですけれど、

FX 会社の仕組みをよくご存知になれば、

なんとなく、言ってる意味が分かるかなと思います。

以上の5つです。

ちょっと意識されて、

いってみてほしいなと思います。

そうですね。

今まであなたが「いいだろう」と思ったこと、

その逆に答えがあるかもしれない

というような頭を働かせるのです。

ちなみに私が、

福岡の**投資家**の先生に会ったときに、

「あれ」と思いました。

「自分はこれを勉強したら、うまくいくだろう」

「こういうことを知ることができれば、うまくいくだろう」

と思っていたことが

「実は全然違ってその逆なのかな」

というふうに思う瞬間があったのです。

そこから頭がちょっと切り替わるのです。

例えば、

「上がるか下がるかを予想してるのでしょ」

と訊かれたら、

「はい」と答えていました。

私は、**上がるか下がるかを**

きちんと**見極める**ことができれば、
FX というのは**うまくいく**とっていたのです。

だから、
それを**見極められる**、
材料を見つけようとしてるのです。
手法と言ったりもします。

だけど、
「そうじゃないな」ということが
分かったのです。

あとは、
「**チャート**をよく見ているだろう」と訊かれたら
「はい、**監視**してます」
と答えました。

「だから負ける」と言われたときに、

「FX はよく**チャート**を見ていなければダメなんだ」

と思っていたのが、

「そうじゃなくても、いいんだ」と思い直しました。

そういうふうに、

自分が「これを勉強すればいいだろう、

こういうことが分かれば、うまくいくだろう」

と思っていたことの逆に**本質**があるのかもしれないと、

そういう**発想を持っていたきたい**のです。

そして、**もう 1 つ**。

口座を 2 つ以上持とうというものです。

こういう感じです。

ABC と**口座**を分けて、

500 万、200 万、30 万。

これをこういうふうに分けます。

超安全、安全、超攻める。

これ、私もそうしてます。

やはり、

私もさすがに**超安全**とか安全とか、

年間で **30%増**えればいいのか、

年間で **50%**になればいいのか、

それは素晴らしいですよ。

「そういうのをきちんとやって」

と推奨したりもします。

だけどやっぱり、

性格的にこういう **30 万**をボーンとか、

やりたくなるのですよ、私も。

でも、

そればかりやっていると、

何かあったときに、

それが吹っ飛んだら終わる

というのもあるんです。

なので、

こういうふうに、分けていくんです。

やるなとは言いません。

ドンチャン、ドンチャンするのを、

やるなとは言わないのです。

私もやるんです。

前回の「**その 1**」に対する質問で、

この前の、2 月にお見せした、

「2,000 ドルの口座どうなったんですか」って、

コメントが入っていました。

飛びました。

足して、やはり、攻めた。

攻めたら、ボンと行っちゃって、

なくなっちゃいました。

でもいいんです、それは。

また入金してやりますし、

見せていないけど、

入金して、もうやっています。

見せていないですけど、見せようかなと思います。

そうだった、

見せようかなと思っていますけど、

こんな感じです。

こういうふうに、

分けるということです。

それが、

資金の配分なので、例えば、

資金がもうちょっと少ないのであれば

A 口座に 50 万、B に 20 万、C に 5 万とかでも

いいと思うのです。

または、

A と B だけにして、

例えば 30 万と 10 万。

他には 100 万と、30 万とか、

なんでもいいんです。

ちょっと分けるということ

を、

やったほうがいいです。

最終的にはこの、

「ABC トータルでプラスならいいや」

ぐらい楽観的になれる状態を、

作るのです。

「FX の調子はどうですか」と訊かれたら、

「FX では全体では、増えてますよ」

ってことがちゃんと言えればいい。

これが**損失を受け入れている状態**なのです。

損失してもいいや、

その代わり、そのメリットとして、

超攻めというのは、

超リスクということになるのです。

「それはそれで行こうよ」と思うし、

超安全で**低リスク**ってことは、

増えない。

あまり**増えない**ということなので、

それはそれとして OK。

こういうふうに、

分けるという事をぜひ、

してもらいたいなと思います。

こうやって、

FX って考えているんです。

ABC 口座、これをもって FX。

そして、

新しい**概念**や**思考**を

取り入れる前にやる事。

例えば、

いま説明した中で、

もしかしたら、**新しい考え方**とか、

皆さんがお読みになって、

「ちょっとこれ取り入れてみようかな」とか

「こういうことを、変えてみようかな」

ということがあったとしたら、

その前にやっていただきたいこと。

これがね、

けっこうアナログなこと言うんですけど、

断捨離です。

断捨離をして欲しいのです。

新しい**概念**や、

新しい**思考**を取り入れる前に、

やることは断捨離です。

断捨離って、片付けではないのです。

断捨離は、お掃除でもないのです。

片付けでもないし、お掃除でもない。

片付けというのは、

いろんなことをきれいに箱に詰めて、

ポンポンと整理整頓する話です。

お掃除というのは、

ホコリを取るとか、そういうことです。

そうではない。

捨てるということです。

洋服や、書籍など、何でもいい。

フリマサイトで売ってもいいと思う。

これ、**実はすごく、重要**なのです。

新しい**概念**や**思考**を入れるときに、
いろんなものを捨てたほうがいいです。

そうすると、

クローゼットとか書籍の棚に、
隙間が生まれるのです。

それを見ます。隙間があるって。

そうすると、

視覚的空間があるので、

脳に空間ができるのです。

新しい考え方や、

そういったものがスッと入ってきやすい。

だけど

詰まっているところでものを考えると、

空間が詰まっているところは、

入りにくいのです。

もう、

スパッと捨てていくということが

とても大事。

これ、

やった人しか分からないんですけど、

スッキリするんです。

思考がクリアになる。

頭の中がクリアになる。

そうすると、

いろんなことがスッと受け入れられたり、

「ああ、こういうことが悪いと思ってたけど、

これがあってよかったな」って、

スッと転換できたりということが、

実はできるようになってきます。

とにかく捨てるということです。

空間にスペースを作ったり、

隙間を多く作るのです。

そうすると、

心理的にもスペースってのが、生まれてきます。

断捨離の大きな間違いが、

片付けと掃除って考えたら、

これは**駄目**なのです。

断捨離というのは基本、

断、捨、離なので、**捨**なのです。

そして、**断**、断ち切る。

それがもう 1 回入ってくる、

ルートを断ち切るということなのです。

捨する、捨てる。

そして、

それがもう 1 回起こらないように

断ち切っていく仕組みをつくる。

これがとても**大事**。

例えば、

洋服バーンってあって、

バーンって捨てても、

また溜まる。

これは捨てたかもしれないけど、

断ができてない。

断ちきれていないのです。

断ちきるところまでやる。

断捨離講座じゃないですが、

あれもこれも、それもこれもと、

やるんです。

そして比較して

「うん、わりといいんじゃない」

「駄目かもしれない」

あれも、これも、それも。

こっちのほうがお得だから、こっちのほうが、コスパ悪いし。

そんなことばかり考えているんです。

雑念が多い、とても。

そして集める、収集癖が出てきます。

そして保管します。

もったいないと、保管します。

そして混乱しているのです、実は。

雑念が多い、集める、
保管する、混乱する。

これが一番新しい概念を、
取り入れにくくなります。

量が多くて、

どうにもならなくなるところまでいっちゃうと、

なかなか大変になってきます。

出来るだけ早く

断捨離をすることを、

ぜひ、していただきたいなと思います。

まとめます。

損失を受け入れていることが、

とても重要ですというお話をさせていただきました。

損失が嫌で、利益が好き。

こういったものではなくて、

損失も受け入れます。

そして、

決めたことをやるしかできないのが、

相場なんですということを、

腑に落とす。

決めたことをやるしかない。

それによつての結果でしょう、

損失と利益というのは。

大事なことは、

決めたことをやることを、

守れるかどうかのほうが大事です。

そして、断捨離をしましょう。

口座を分けたほうがいいとか。

断捨離しましょう。

新しい概念や考え方を入れるときには、

一度断捨離をしていきましょうということです。

必ず何かを入れるときには、

何かを、その倍ぐらい

捨てたほうがいいです。

最近私がやっているのは、

断捨離で言うと、**洋服 1 枚買ったら、**

できれば、2 枚処分するという

ようなことをやっています。

できるだけ 2 枚、

倍です。

最低でも 1 枚入ったら 1 枚は何かしら、

捨てるということはしないのですけれど、

妻に言って、売ってもらうとか、

そういうことです。

売ってもらったり、誰かにあげたりする。

そういうことをする。

今回

「**FX 必勝法その 2**」ということで、

説明させていただきました。

だんだん **FX** のほうに、
グッと近づいてきました。

大事なことは、**損失を受け入れる。**

そして、

増やし続ける人の頭の使い方を、
ちょっと手に入れる。

そして**口座を分散する。**

自分の性格、
私は自分の性格をよく分かっています。

ギャンブル癖がある、

だから、

超安全、安全、超ギャンブルという**口座**を分けて、

ギャンブル口座は別に吹っ飛んでも、

アチャーと思って終わりです。

そういうふうやっていくということで、

全然 OK です。

増えたら、

よしよしと思っても、

ギャンブルが楽しいって、

そういうことでしょう。

超安全なんて、

「あっそう」というところなんだけど、

ギャンブルって、

それなりの**感情の動き**があること、

感情の動きを楽しんでいるだけなんです。

ある意味。

小さい口座で、ボンって溶かすというのは。

それをあまりにも、

感情が動かないもので、

感情を動かしてみるというのも、

ある意味楽しみでもあるんです。

それでいいと、

私は思っているんです。

ちゃんと分けていれば、

それでトータルで増えていれば、

いいというふうに考えています。

今日の**メルマガ**はいかがだったでしょうか？

次回は、

「FX 必勝法その 3」

なので、

今度はもう少し、FX 側に近づいていきますので、

また引き続きお読みいただければと思います。

「その 4」「その 5」 ぐらいまでは、

作りたいなと思います。

あとは、

このメルマガ内では説明できることと、

説明できないことというのが、

どうしてもあります。

どうしても対面じゃないと、

お話できないなということもありますので、

その点はご了承くださいければと思います。

最後までお読みいただき、有難うございました。